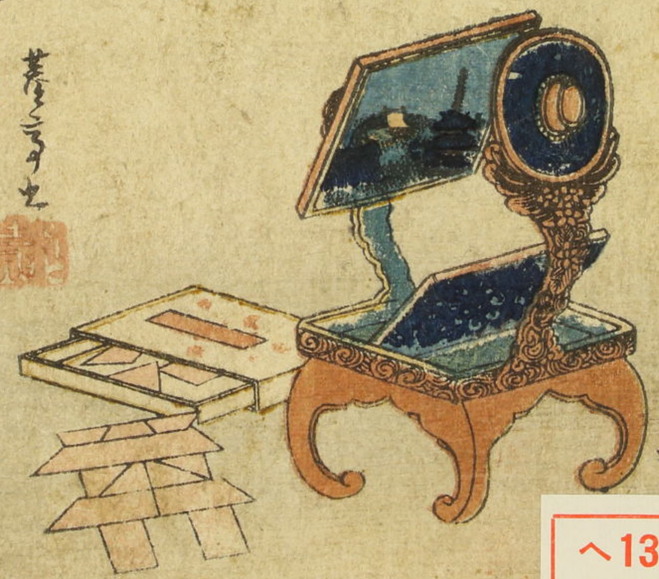
笑顔作
雄国画

史雷屯
豪傑譚
九冊

甘泉堂蔵梓



へ13
3877
5

上

3877
75

懸蓮妖術 地獄変 見雷也 高傑譚 孝九郎 上

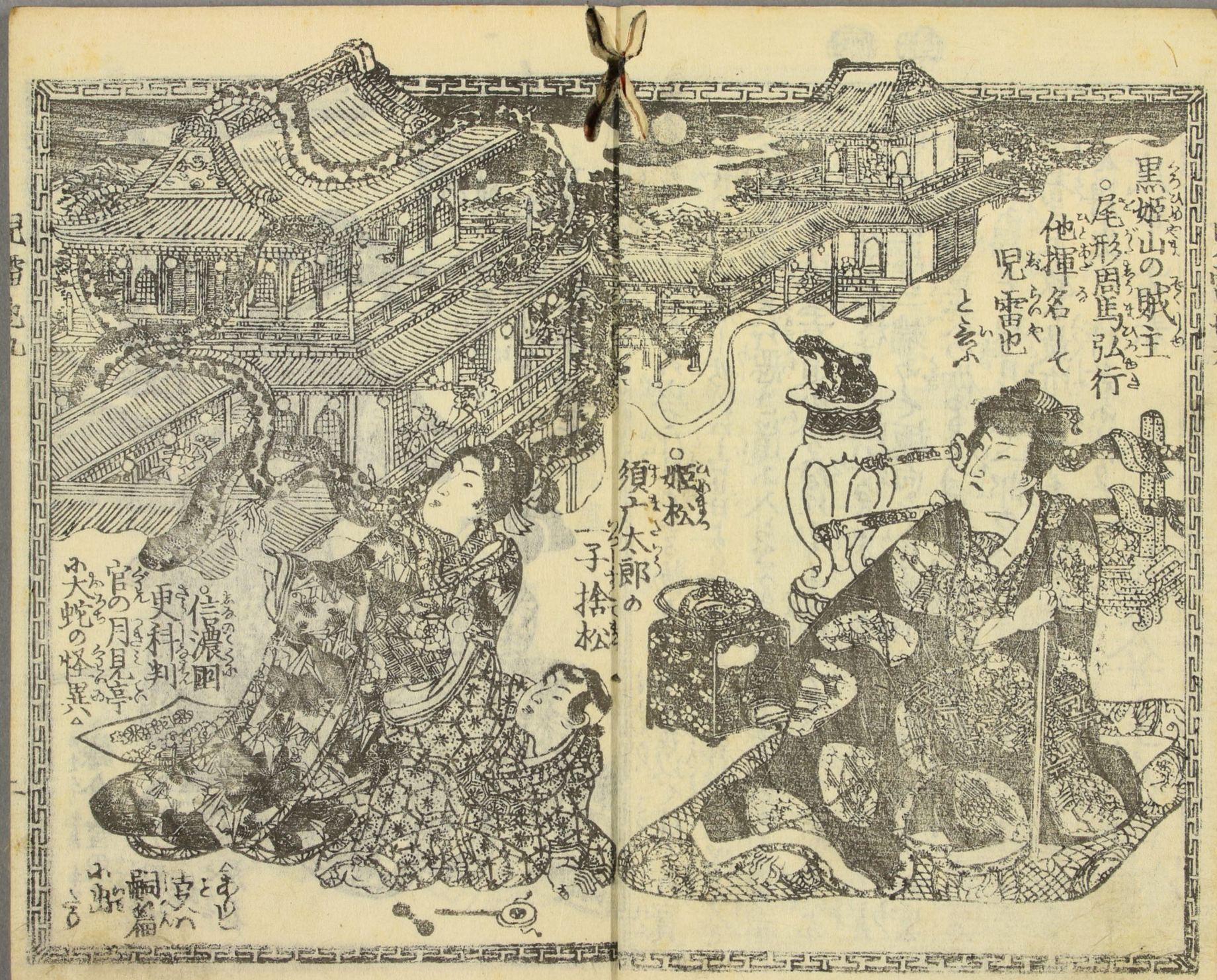
世永堂梓

江戸芝神明前二島町
和泉屋市兵衛版

楚書に曰く楚国の以て仁義となる物なり唯善を以て貴とし實其善に行ひ難し然れば古昔より聖賢も只善道に道すんと人の性に善なれば悪き道に入らざるもあり亦性に悪なる故善道に入るべきを論せども戒めこれを詰め処に善道に赴く古人の理に果敢なる冊子物語も素より是勸善懲悪の一端にして趣向を音曲演戯に擬ひ新奇妙案工風競べ豆蒙の仰もそこ〳〵なるべし抑此見雷也に行ひ悪に似たれども善に帰するの上日を以て一部の趣向とする支笑顔子に本意をもて荀子の教に最近し請看編を綱て佳境に至らば必其意を会得せべしと作者に代りて

戊申孟春

一筆菅主人誌

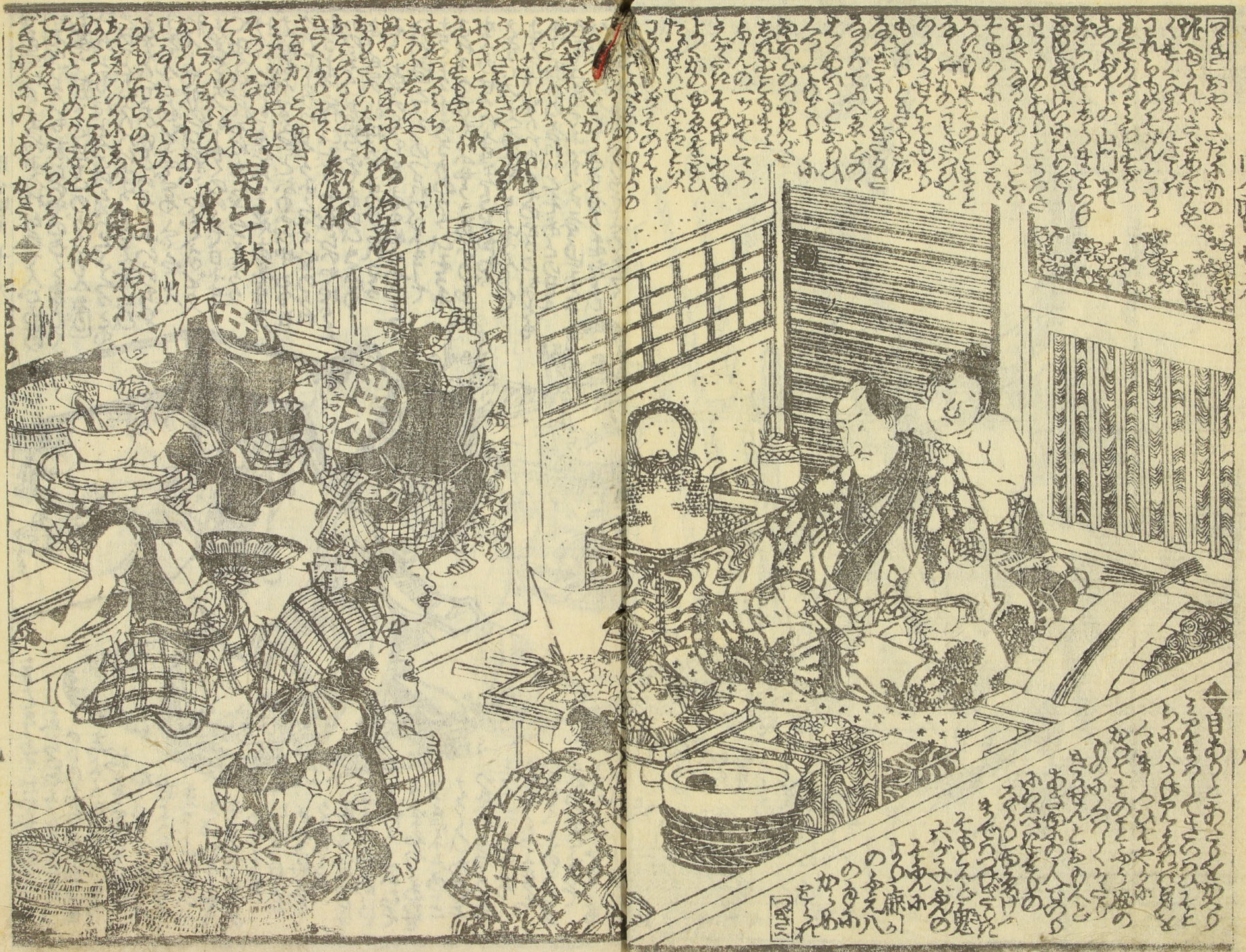

黒姫山の賊主
尾形周馬弘行
他揮名して
児雷也
と云ふ
姫松
須太郎の
二子捨松
信濃國
更科判
官の月見亭
の大蛇の怪異ハ

月光
奇偶の縁を曳て
半七於花等
刀屋の家と栄績を
鎌倉雪の下
刀屋娘
於花
菱子乃
手ずりとゆかぬ
草の餅
深松庵
刀屋の聟
半七

小賊の首
鮑
黏八
金箍出太郎
山猫弥兵六
猫間三
兎の宿の稲作
黒姫山の小賊
稲作の家に
活入して
少女於綱を懲さる
とゝ本文1永安くゝえさう
兎女於綱
鉛の中めかさ
於ヨネ七

○児雷也あらの
やとりをひろひて
山寨にかへる

〔つゞき〕 [illegible]



山門ゆて [illegible]

[illegible]

〔つゞく〕

八

内
田
歌
川

嘉永七甲寅新板目録

女郎花五色石臺 六編 七編 八編
柳下亭種員作
一雄齋國輝画

小女郎蚯蚓恋麻環 三編
曲亭馬琴作
一勇齋國芳画
大尾

風俗淺間嶽 初編 二編
種久作
國貞画

今業平昔面影 六編 七編
仙果作
芳虎画

黄金水大盡盃 初編 二編 三編
爲永春水作
歌川國貞画

小栗十騎 金沢八景 **照天松操月鹿毛** 初編 二編 三編
春風亭柳枝作
一雄齋國輝画

地本草紙問屋 芝神明前 **和泉屋市兵衛板**

豐國画

兒雷也豪傑譚九編

下

甘泉堂梓
弘化五
戊申
新版
豊国門人
国貞画

蝦蟇の妖術児雷也鎌倉の異変を通暁せ

一陽齋豐國画 美圖相笑顔作

兒雷也豪傑譚

廿四編 廿五編 廿六編 廿七編

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

假名反古 一休草紙

五編 六編 七編

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

楠二代軍記 二編

海望亭作
芳虎画

櫻紅葉命找 二冊

一名 めさまし草

琴彦作
芳房画

新編金瓶梅 十編

馬琴作
大尾 豊國画

地本錦繪問屋 芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板

鬼雷也豪傑譚

第十編

嘉永二己酉歳
孟春新版

上

和泉屋市兵衛版

蝦蟆妖術
大蛇怪異

児雷也豪傑譚

第十編
全二冊

美國垣笑顔作
一陽齋豐國画

嘉永元戊申春稿脱　司馬神明前

同　二稔己酉春發兌　和泉屋市兵衛版

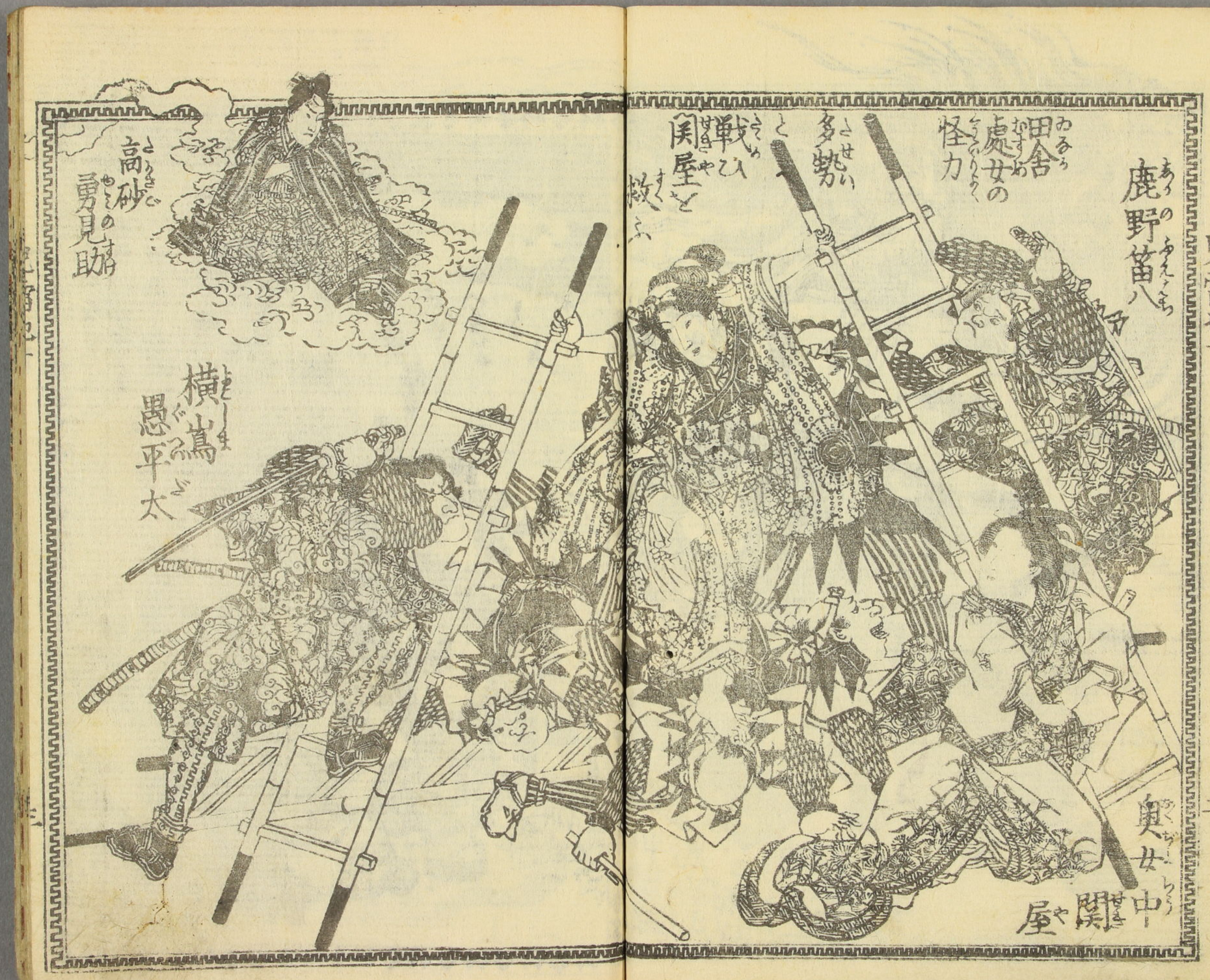
壹

怪力乱神聖人語ざる妖怪変化奇異の事有無を論ずるを
幽冥の物出ず非常は聖人の云ざる所なれども然れども天地造化の不測ふ
怪異ある事無ふあらざる是を禍福吉凶の禎祥ふ採天の誡めるごと
云其餘は狐狸の所為なれば怪むふ足事なり衆人斯の知らず恐れ怖物
ふ看て妖孽と憎む人情の惑ひのみ和漢往昔仙術妖魔の
奇怪を傳へて有と云ふ佛説ふ云地獄極楽有と云ふ誇ふ粗似
ふ事の虚実ふ非ず眞の児雷也の譚も幼童児女の目を悦ば勧善懲
悪の微意を示ば果敢ふ冊子の趣向ふれども時好ふ恢ひて世評喝
采年々ふ嗣出せば遺稿も絶て腹稿の儲も従来ふられども販売
の需ふ應じてさやう斯ふ重月續ー第十篇の草稿と今年も
ちと酉の初春新版の
魁ふ梓ふ寿事ふり

一筆芥主人誌

兒雷也
尾形勝馬
周弘行
黒駒山煙景

元山寨
兵火に亡ぶ
甲斐國黒駒山の郷士
浦不二
左衛門
煙景


鹿野苗八
田舎娘の怪力
多勢と戦ひ関屋を救ふ
高砂の勇見助
横嶽の愚平太
関屋中女

古今集哀ノ二
花ちれば思ひそめしを
げにうたれけり

光りかがやく極楽
人のつきかき

鎌倉雪ノ下町
刀屋の娘
於花

浦不二左
輝景が黒
駒山の山寨

修羅道
非業の刃ふ係て修羅の苦とゝ亡者ちうの勇力をたのゝ安流の敵と討て恨そんゝを成佛得脫ゝ血のなゝ

地獄谷之図
針の山
血の地獄

車
石

豊國画笑顔作

児雷也豪傑譚

廿四編 廿五編 柳下亭種員作
廿六編 廿七編 一雄齋國輝画

楠二代軍記 二編 海望亭作 芳虎画

櫻紅葉命找 二冊切 琴彦作 芳虎画

新編金瓶梅 十編 馬琴作 大尾 豊國画

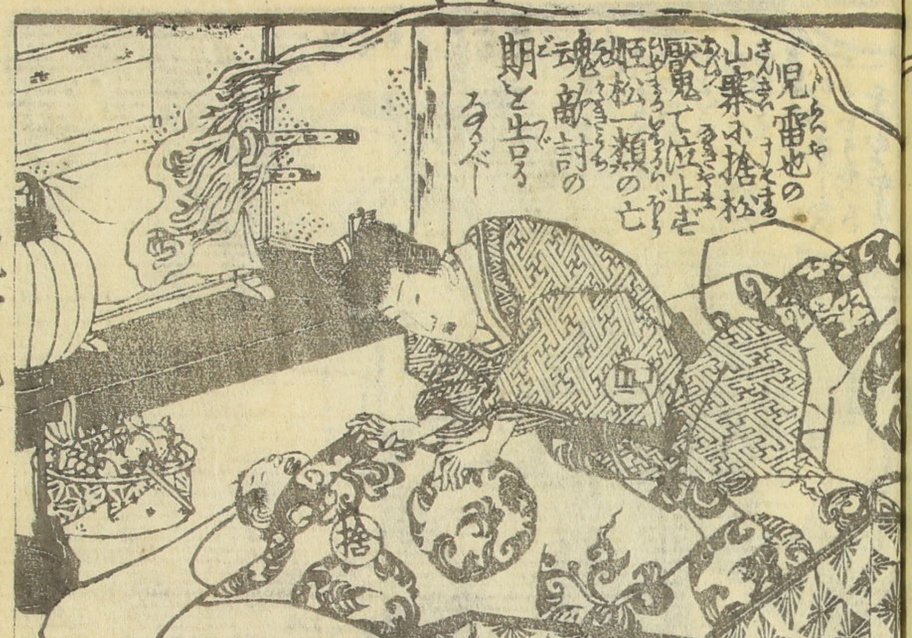
假名反古一休草紙 五編六編七編 未年 春出版
柳下亭種員作
一雄齋國輝画

地本錦繪問屋 芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板

美國画作

豐國画

下

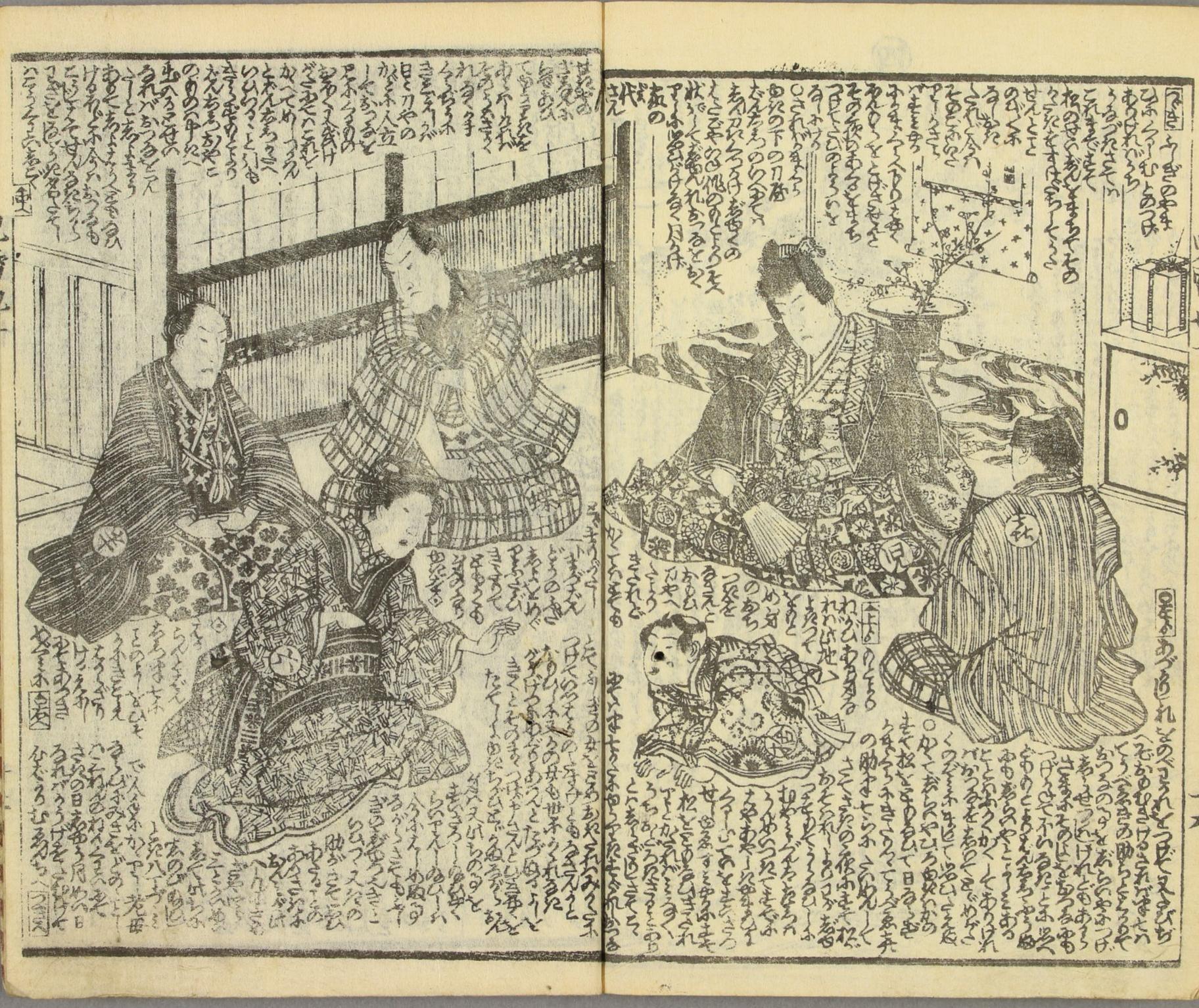


○さるやぶ天甲乃ゑるうし不二ゑもてるうびハム正
こま山の山さのふ戦武士のとうそひ一ぎとふ
ぞきんぐくへせのうくんと軍後えまちくるうけ
れんひと武げのこうーやのきえもひあまんだた
あをうーうーう七山さのへようびむうまうーうのねの
あよとーまあネちぶ者のまえハらをうくんひ
らうもまそおらいやまみくまつけうくまうをとひさ
まうふたのうけれがえちをちうちうふたそれが
かうそが者つふあうてえあらてやうどふうゆうて
けをうべきりのてあーれどうれいえうあのうふ
者くまえーくあーぎのおとうひとうまうのやえそれ
まぞうひひせぎひうこのくびハうれとうろゆくさん
えうくとおとうふべーとうまうえの接婚よと康政のうらも
ようとうげさうぐえまべーとうれをけうこうまま山を
立らぐくりうくとえちたろハ甲乃をうつそくうま
日うをぎさぐくのくあいうりえの日ゆまくくネうえ
らんとけーふ当のやふかよひまどりえうらえの
ぎハうる村さぐれかきうころハはぐふうえ夜
もあのうくまきけるやふひーぎとうれゆ者ふ
べをやよまあくもあーぎりくべはせんとこれが者
あくえうのうやりふりくきよのおとあぐく
きとえまーひまえあくうまんくーえ入くんとうこうえ一ト
よとあーとまえあくうまんくーえ入くんとうこうえ一ト
いあうふ立りてあそうどやとくあとうけるふ
あーどーとえそとーのうこうこそうらぐ迄えれうよう
らぐきくうあくあーれうくわらくぐ迄えれうよう
ゆうふあとづくりのとたいうきびいうりくらぐ
者の人のうこうせゆうとうがんちたこそと

児雷也豪傑譚

著 千梅園
画 仮名垣魯文

菜園堂飛
一陽斎豊重
和泉二丁目菜
屋市兵衛
新編



一陽齋豊國画 ○美圖垣笑顔作

嘉永七甲寅新板目録

地本草紙問屋 芝神明前 和泉屋市兵衛板

風俗淺間嶽 初編 二編 種久作 國貞画

今業平昔面影 六編 七編 仙果作 芳虎画

小栗十騎 金沢八景 **照天松操月鹿毛** 初編 二編 三編 春風亭柳枝作 一雄齋國輝画

女郎花五色石臺 六編 七編 八編 柳下亭種員作 一雄齋國輝画

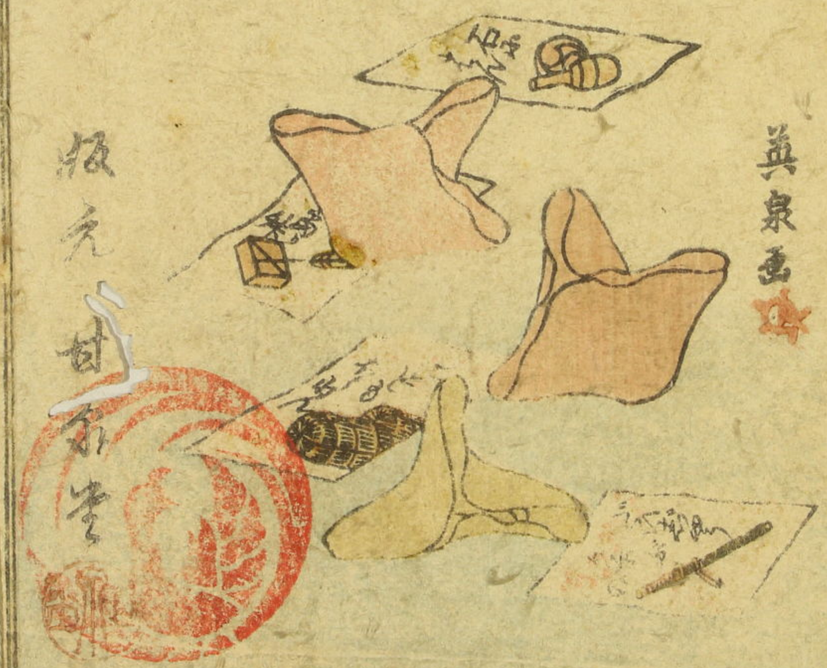
黄金水大盡盃 初編 二編 三編 爲永春水作 歌川國貞画

小女郎恨恋麻環 三編 曲亭馬琴作 一勇齋國芳画 大尾

笑話
豊國画

兒雷也
豪傑譚
第十編

大和郡山藩
侯校



侯元封家

英泉画